

## 令和5年度 市民と医療・介護関係者のための合同公開講座 アンケート結果

## 【医療・介護関係者】

日 時 令和5年3月3日（日）  
 場 所 呉市生涯学習センター  
 参加者数 市民：112名、医療・介護関係者：42名、計154名

## アンケート回収（回収率）

市民：89名（79.5%）、医療・介護関係者：36名（85.7%）、計125名（81.2%）

## 1 あなたの所属機関を教えてください。（ひとつだけ）

所属機関	人	%
介護保険施設	2	5.6%
居宅介護支援事業所	5	13.9%
高齢者相談室	1	2.8%
歯科医院	2	5.6%
病院	8	22.2%
保険薬局	1	2.8%
訪問介護事業所	1	2.8%
訪問看護ステーション	2	5.6%
その他	13	36.1%
(空白)	1	2.8%
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>

## 2 あなたの職種を教えてください。（ひとつだけ）

職種	人	%
医師	2	5.6%
歯科医師	1	2.8%
看護師	7	19.4%
歯科衛生士	1	2.8%
薬剤師	1	2.8%
ケアマネジャー	5	13.9%
ソーシャルワーカー	1	2.8%
医療・介護事務職員	1	2.8%
介護職員	2	5.6%
民生委員	10	27.8%
(空白)	5	13.9%
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>

## 3 今回の講座をどこでお知りになりましたか？（いくつでも）

職種	呉市政だより ページ	呉市ホーム ページ	ちらし	知人からの 勧め	その他
医師		1			1
歯科医師					1
看護師		2		3	3
歯科衛生士				1	
薬剤師		1			
ケアマネジャー		1		5	
ソーシャルワーカー		1			
医療・介護事務職員				1	
介護職員				2	
民生委員		1		3	7
(空白)		1		1	
<b>総計</b>		<b>8</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>0</b>
					<b>12</b>

※その他（委員、主催者からのお知らせ、民生委員定例会、職場でのお知らせ、医師会週報、メール）

## 4 講座に参加した理由を教えてください。（いくつでも）

職種	内容に興味 があった	仕事に活か すため	自分自身の ため	家族のため
医師	1	1		
歯科医師	1			
看護師	5	6	1	
歯科衛生士			1	1
薬剤師		1		
ケアマネジャー	4	4	2	1
ソーシャルワーカー	1	1		1
医療・介護事務職員	1	1		
介護職員	2	1	1	1
民生委員	8	10	5	3
(空白)	2		1	1
<b>総計</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>11</b>	<b>8</b>

## 5 本日の講座はいかがでしたか？（ひとつだけ）

回答	人	%	
とても満足	18	50.0%	91.7%
満足	15	41.7%	
どちらでもない	3	8.3%	
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>	

## 6 寸劇の内容はわかりやすかったですか？（ひとつだけ）

回答	人	%	
とてもわかりやすかった	25	69.4%	100.0%
わかりやすかった	11	30.6%	
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>	

## 7 質疑応答の内容はわかりやすかったですか？（ひとつだけ）

回答	人	%	
とてもわかりやすかった	13	36.1%	77.8%
わかりやすかった	15	41.7%	
どちらでもない	2	5.6%	
(空白)	6	16.7%	
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>	

## 8 講座の内容は参考になりましたか？（ひとつだけ）

回答	人	%	
非常に参考になった	12	33.3%	88.9%
参考になった	20	55.6%	
(空白)	4	11.1%	
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>	

## 9 今後の業務に活かせそうですか？（ひとつだけ）

回答	人	%	
とてもそう思う	12	33.3%	86.1%
そう思う	19	52.8%	
どちらでもない	2	5.6%	
(空白)	3	8.3%	
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>	

## 10 患者（利用者）や家族の在宅療養を支援するにあたり、課題だと感じていることがあれば教えてください。

- ・システムの浸透
- ・最期まで在宅と言うことのイメージが、なかなか患者さん、ご家族に抱きにくいため、病院で希望を聞くときに困ります。安易に考えすぎていると思うこともあれば、そこまで難しく考えなくても、、、と感じることもあります。医療者の説明する力を問われていると感じます。
- ・状況把握が必要（個人の意志、希望は様々である）
- ・サービス（訪問系）が足りないこと。（希望する回数、希望時間に入ってもらえない）  
(短期間ならまだ手配しやすいが、長期間になると難しい)
- ・生活スタイル（家族の仕事等）とサービスが合わない
- ・在宅療養をする時、他人の手助けを固なに拒否し、家族が困っている時（ケアマネも拒否）  
どうすれば受け入れてもらえるか・・・いろんなケースが知りたい
- ・患者の症状の認知度合い、家族の時間的余裕
- ・現状把握。何に困っているか、どんな支援を必要としているか？
- ・行動にうつす事が出来ない
- ・わかっていて用意をしているが、まじめに話し合っていない
- ・退院時に、患者さんが在宅療養が可能かどうかの話がどこまで出来ているか（希望していることが前提だが）どのような援助、サービスを利用すれば可能か、状態を提供できるスタッフ（医師、MSWがいるか）がいるか療養型病院に勤務しているので疑問に思うことがよくある。
- ・家族の介護力の差、優先順位の差、お金を出すことへの価値、感の差、サービスがあってもお金がかかることで、利用しない価値感で提案しても利用せず「困っている」と言われ続け、どうしたものだか
- ・一人暮らしの人を支援する場合、無理があるように感じる。どちら辺まで一人暮らしができるのかが問題である。
- ・高齢者の一人暮らしが多い呉市では、夜間介護ができる事業所を増やしていく必要がある
- ・往診や訪問診療をして下さる先生が、各地域にもっといて欲しいと思います。
- ・訪看が入るタイミングがすでにACPがゆっくりできる状況でないことが多いこと
- ・在宅看取りを希望され、HPから退院されて1~2Wで看取りとなることが多い
- ・高齢で一人暮らし、お子さんがおられない方の人生会議はどのように？
- ・自分の地域に利用できる訪問サービスがどれだけあるか
- ・病気を改善するために「薬」も必要だと思いますが、食事（栄養）も重要と思います。
- ・勤めている法人にとっても方法策に困っていることがある。

**11 「人生の彩ノート」を知っていましたか？（ひとつだけ）**

回答	人	%	
患者（利用者）や家族と共有したことがある	6	16.7%	
意味・内容は知っていた	20	55.6%	80.6%
聞いたことはあった	3	8.3%	
知らなかった	3	8.3%	
(空白)	4	11.1%	
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>	

**12 人生会議に参加したことありますか？**

回答	人	%
ある	7	19.4%
ない	21	58.3%
(空白)	8	22.2%
<b>総計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>

**13 人生会議に参加したことが「ある」と回答した方にお聞きします。誰の人生会議ですか？**

- ・両親
- ・母
- ・利用者様
- ・おば
- ・本人
- ・担当患者さん
- ・父・義母・義姉
- ・普段の訪問利用者さんとの会話、コミュニケーションの中で

#### **14 今後参加してみたい講座のテーマがあれば教えてください。**

- ・看取りや、死生観について。チャップレンさんや、僧侶など宗教家の話も聞いてみたいです。
- ・終末、看取りの相談について
- ・認知症の尊厳について
- ・成年後見制度について、今日のような形でやって欲しい
- ・同じテーマ
- ・健康寿命を伸ばす具体的方法

#### **15 今後改善してほしい点があれば教えてください。**

- ・もう少し広い会場でできればよい
- ・キーパーソンが妻や長男嫁という昔ながらのパターンだったが、最近は夫や実子がキーパーソンも多い。介護は「女性の役割」の印象にならないよう、別パターンもあればよいかも。
- ・会場が密で感染対策への配慮が欲しいです
- ・介護保険認定結果が出るのが遅い（入院中に暫定でしかサービス調整できない）

#### **16 その他、ご意見やご感想があればお聞かせください。**

- ・大変わかりやすくて、勉強になりました
- ・演者の方、会の運営の方に、感謝申し上げます。病院で看護師をしており、患者さん、ご家族だけでなく、スタッフにもACPについて説明するときのために、、、と思い参加させていただきました。説明の言葉など、大変勉強になりました。質疑応答も、市民の方の気掛かりなことが分かり、参考にさせていただこうと思いました。ありがとうございました。
- ・心の悩みなど多くの相談室を紹介してほしい
- ・あっという間に時間が過ぎ、寸劇でとてもわかりやすかったです。
- ・それぞれの組織（専門職）の人が協力して、わかりやすく楽しく勉強できました。よかったです。ありがとうございました。
- ・寸劇があり内容がより分かりやすかった
- ・サービスを受けるのはまず、どうしたらいいか。というのがわからないというのをよく聞きます。（NSでも）流れがよくわかってよかったです。救急車の呼び方や必要なこととても参考になった。ACPについては、まず医療従事者が理解していく必要があり、外来患者に周知することも大切だと思う。業務の合間をぬつての準備、練習本当にお疲れ様でした！
- ・今回のような明るく楽しい内容で人生の深いことにふれるきっかけとなり、話の提案のヒントももらいました。ありがとうございました。
- ・是非このパッケージで中高生にみてもらいたいです
- ・お芝居とてもすばらしかったです。そのもの専門の方々が演じて下さって、ありがとうございました。
- ・花子さんの演技最高！！楽しく観れました！お疲れ様でした。
- ・終末期、かかりつけ医って夜や朝でも連絡していいのかな？